

通話料無料ダイヤル:

1-800-511-2300

サイト:

dhcs.ca.gov/OPL

英語、スペイン語、アラビア語、アルメニア語、カンボジア語/クメール語、広東語、ペルシア語、ヒンディー語、ミャオ語、日本語、韓国語（朝鮮語）、ラオス語、標準中国語、パンジャブ語、ロシア語、タガログ語、タイ語、ベトナム語。

(24時間365日対応)

乳がんや子宮がんの検診を無償で受けるには、以下の条件を満たしていなければなりません。

- カリフォルニア州に在住している。
- 年齢条件を満たしている。
- 医療保険に加入していないか、加入していても限定的な保険である。
- 医療保険に加入しているが、自己負担額または免責金額を支払える能力がない。
- 世帯所得が低い。

無差別平等に関する宣言 (Statement of Non-Discrimination)

California Department of Health Care Services (カリフォルニア州健康管理サービス省) は、適用される連邦公民権法を遵守し、人種、肌の色、出身国、年齢、障害、または性別に基づく差別を一切行いません。

Language Assistance Services

Si habla español, usted puede conseguir ayuda para entender este documento, hablando con su proveedor de atención primaria del programa EWC o llamando al Contratista Regional de su condado. Los teléfonos del Contratista Regional se encuentran abajo. Esta asistencia lingüística es gratis.

如果您說漢語，我們可以幫助您瞭解這份文檔。請諮詢您所在地EWC附近診所或當地負責聯絡人。當地負責人電話見下文，他們會免費提供說明服務。



1-800-511-2300
dhcs.ca.gov/EWC



© 2021 Department of Health Care Services
Japanese

無償の乳がんと 子宮がんの検診

提供: EWC Program

Every Woman Counts (EWC) プログラムとはどのようなものですか？

EWC プログラムは、無償で乳がんと子宮がんの検診および追跡検査を提供しています。無償検査には、カリフォルニア州在住の資格のある方を対象とするマンモグラフィ、PAP テスト、HPV 検査が含まれます。女性は年を重ねるにしたがい、乳がんや子宮がん罹患する可能性が高くなるため、乳がんや子宮がんの検診を定期的に受けることが大切です。



マンモグラフィはなぜ受けるべきですか？

- 乳がんは、早期に発見できれば、治療が容易になります。
- マンモグラフィでは、小さすぎて触知できないような乳がんを発見することができます。

マンモグラフィはどのくらいの頻度で受けるべきですか？

- 40歳以上の方であれば、1～2年に1回の検診をお勧めします。
- 検診を受けるべき時期と頻度については、かかりつけの医師にご相談ください。

1-800-511-2300
dhcs.ca.gov/OPL

EWC プログラムは無償で以下の検査を提供しています。

- マンモグラフィ
- PAP テスト
- HPV 検査
- PAP テストと HPV 検査の両方
- 必要に応じた追跡検査

乳がんと子宮がんの検診を受けるべき時期と頻度については、かかりつけの医師にご相談ください。

乳がんの警告徴候/症状には、以下のようなものがあります。

- 乳房や脇の下のしこり、塊、腫れ
- 乳房の大きさや形状の変化
- 乳房や乳首の皮膚の異常や色の変化（くぼみやしわができる、赤くなる、うろこ状になる、厚くなるなど）
- 乳頭退縮または陥没乳頭
- 乳頭分泌物
- 乳房の痛み

こうした徴候や症状が見られたら、すぐにかかりつけの医師にご相談ください。

こうした警告徴候/症状は、乳がん以外の疾患でも生じる場合があります。

子宮がん検診はなぜ受けるべきですか？

- 細胞の変化を早期に発見および治療することで、子宮がんを予防することができます。
- PAP テストでは、がんの原因となるような頸部細胞の変化がないか探します。
- HPV 検査では、頸部細胞の変化の原因となりうるようなウイルスがないか探します。



子宮がん検診はどのくらいの頻度で受けるべきですか？

- 21歳以上の方は、3年ごとに PAP テストを受けることをお勧めします。
- 30歳以上の方は、次のいずれかの検査を推奨される頻度で受けることをお勧めします。
 - 5年ごとに HPV 検査
 - 5年ごとに PAP テストと HPV 検査の両方
 - 3年ごとに PAP テスト

どの検査が自分に適しているかは、かかりつけの医師にご相談ください。